

メロディー ほっと通信

発行：特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブ メロディー 発行責任 理事長 木村満里子
住所：〒212-0016 川崎市幸区南幸町 2-4-2 ビクセル川崎 101
Tel/Fax：044-533-8308 URL：http://wco-melody.com/ e-mail:wco-melody@guitar.ocn.ne.jp

私たちワーカーズ・コレクティブ メロディーは、住みなれたまちで安心して暮らし続けるためのサービスを提供しています。

メロディー15周年記念事業プロジェクト発足

2002年3月にW.Coメロディーを設立し、間もなく15年が経過します。デイサービスとケアプラン作成から始まった事業も、訪問、コミオプ、川崎市の産前産後家庭支援ヘルパー派遣事業、ほっとサロン等に広がり、地域の豊かさを実現する一翼を担ってきました。また、昨年には戸手から南幸町に移転してきたことを契機に、メンバー同気持ちは新たに日々邁進しています。

さて、社会の状況は大きく変化し、少子高齢社会が加速する中で、社会的格差と貧困が拡大し、孤立化もすすんでいます。

私たちは、この問題に目を閉ざすことなく、何かできることは無いかと模索する中で、「居場所・たまり場」をつくり、新しいコミュニティづくりを促進していきたいと考えました。

「場」があることで、仲間との支えあい、認知症カフェ、子ども食堂、ケアラー（介護者支援）等々の活動が広がり、さまざまな人のつながりを回復させ、あらゆる相談も含めた拠点として機能していく可能性を感じています。

15周年記念事業として、W.Coメロディーがこれまで培ってきたスキル、お金、人のつながりを駆使して「居場所・たまり場」事業を推進していきたいと思えます。

今まで10年間継続してきた、「ほっとサロン」を多世代の居場所にするため、子どもたちも参加できるようにしながら、地域のネットワークを広げていきます。その後、拠点となる「場所」を確保していきたいと考えています。空き家や空き店舗も含めて、心当たりのある方は是非情報を提供していただけましたら幸いです。

地域の拠点から、地域の豊かさをおおぜいの皆様と実現できたらと思います。

理事長 木村満里子



Contents

- 1：15周年記念PJ発足
- 2：特集：育児と介護の「ダブルケア」
- 3：地域みまもり支援センター
- 4：メロディー事業案内

メロディー ほっとサロン

年内のご案内
11月20日
12月18日
毎週第3日曜
午前10時から12時まで
(10月16日は、ダブルカフェ開催のため、お休みします)
参加費 500円

詳細はお問合せ下さい
044-533-8308

●ケアマネジャー

要資格
未経験でも丁寧に指導します

●デイサービススタッフ

介護スタッフ
看護師
送迎ドライバー

●ホームヘルパー

介護福祉士
初任者研修終了者
ヘルパー2級

週1日の勤務からでもOKです
勤務時間は相談に応じます

資格取得補助制度
あります
新しい
きれいな職場です

主婦の方・中高年の方も大歓迎です
リタイヤした方の地域貢献にも

介護スタッフ

大募集

まずは
お電話ください

044-533-8308

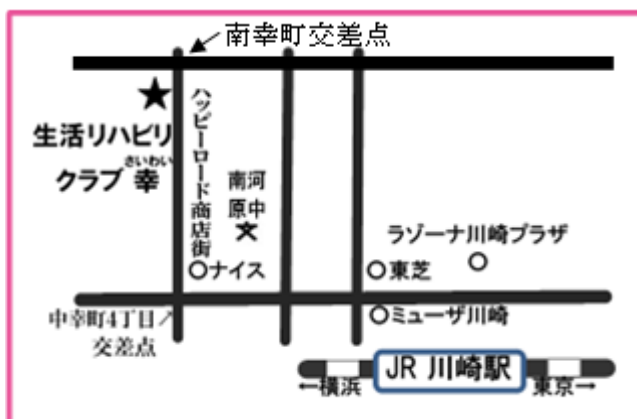
メロディー 事業案内 tel&fax 044-533-8308

【生活支援サービス事業】 (W.Coメロディー独自事業)	手助けを必要とされている方にサービスを提供します。例えば、お年より・障がいを持つ方・病弱な方のための付き添い、通院介助など。また、保育園の送迎や産前産後のお手伝いの育児支援など。まずはご相談ください。	
生活 リク ハラ ビブ リ幸	【デイサービス】	介護や支援の必要な高齢者の方に、送迎つきで、昼食・入浴・趣味の活動等を通じて楽しく過ごしていただきます。(月～土)
	【居宅介護支援事業】	介護保険の申請代行やケアプランの作成、サービスの調整・手配をします。
	【ヘルパー派遣】	ホームヘルパーがご自宅を訪問し、食事・排泄などの介助や家事等の日常生活の援助を行います。障害福祉サービス事業にも対応しています。

編集後記

戸手から南幸町に移転して来てから間もなく1年になります。新しい事業所にも慣れ、メンバーみんな元気に働いています。地域のみなさんにも、徐々に親しんでいただけるよういろいろなイベントを企画しますのでご参加ください。

(てつこ)



メロディーへのアクセス：川崎駅より徒歩10分

育児と介護の「ダブルケア」

ダブルケア 25万人

4月に内閣府から「育児と介護のダブルケアの実体に関する調査」が公表されました。「ダブルケア」とは、“子どもの育児”と“親の介護”に同時に直面することを指します。現在、そうした状況にいる人が日本に25万人もいるということです。ワーカーズ・コレクティブメロディーでは、高齢者介護施設「生活リハビリクラブ幸」を運営するとともに、川崎市産前産後家庭支援ヘルパー派遣事業や子育て支援も行なっていますが、ダブルケアに直面している利用者も少なくありません。

ダブルケアの背景

男女ともに初婚年齢があがり、それに伴い、晩産化も進んでいます。女性の平均初産年齢は30歳を超え、35歳以上での出産も全体の出生数の25%になっています。結婚して何人か子どもを育てているうちに40代になり、親も高齢となってきます。65歳以上の高齢者のうち、要介護や要支援と認定された人は約5人に1人となり、育児と介護の同時進行は身近な問題です。一方、少子高齢化が進み、親族のつながりも小さくなった結果、相談したり頼ったりする先も減り、ひとつの家族にかかる負担も大きくなってきました。

女性への負担

内閣府の調査では、ダブルケアにあたり、仕事を辞めたり減らした女性の割合は男性の倍もあり、女性へ大きな負担がかかっている状況がわかりました。女性が仕事を続けられるかどうかは、子育てや介護のサービスの利用や職場の勤務体系に大きく左右されるようです。

先頃発表された厚生労働省の意識調査では、40代の45%がダブルケアを身近な問題と思うかを尋ねたところ、「思う」15.1%、「どちらかと思う」30.3%でした。また、支援策として、介護も育児も相談できる窓口や、介護も育児も合わせて支援が受けられる場所への要望が多くありました。

ダブルケアへの対応策を早急に整えるとともに、男女ともに働き方を社会全体で見直すことが求められているのではないのでしょうか。

ダブルケアカフェ開催します

10/16(日) 10:00~

現在子育てや介護をする女性が、ダブルケアにどう向き合っているのか、何が課題で必要な支援は何か、一緒に考えましょう。

現在ダブルケアに直面されている方だけでなく、以前経験された方、今後抱える不安のある方、みなさんの意見をお聞かせください。



地域みまもり支援センター

この4月より、区役所内に「地域みまもり支援センター」が設置されたのをご存知ですか?子どもから高齢者・障がい者まで、様々な課題を抱える地域住民の相談窓口となっています。

【主な業務内容】

地域団体との連携、健康づくり、介護予防、地域福祉計画、認知症対策、母子健康手帳の交付、乳幼児健康診査、子ども・子育てに関する相談



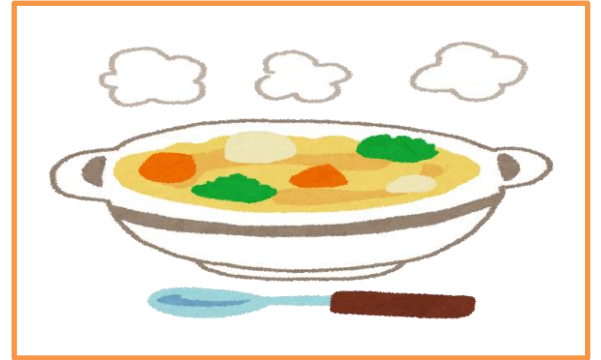
「地域みまもり支援センター」
関係の案内は区役所にあります



幸区役所内
「地域みまもりセンター」案内板

お年寄りに喜ばれるレシピ

<白菜と鶏肉のクリーム煮>



柔らかく食べやすいクリーム煮です。

材料 4人分

- 鶏もも肉 300g
- しめじ 1パック
- サラダ油 大さじ1杯
- 牛乳 400cc
- バター 大さじ1杯
- 小麦粉 大さじ3杯
- 洋風だし 2パック
- 塩、コショウ

調理

- ①鶏肉を一口大に切り、塩コショウをする。
- ②白菜はざく切りにする。
- ③しめじを1本ずつに分ける。
- ④鶏肉をサラダ油で炒め、白菜、しめじも炒める。
- ⑤④に、水500ccと、洋風だしでを加えて煮る。
- ⑥柔らかくなったところへ、暖めた牛乳を入れる。
- ⑦バターと小麦粉を練ったものを⑥に入れてトロミがついたら塩コショウで味付けをする。